

2006.07.14.

NPO法人日本弱酸性美容協会 主催

第16回《加齢美シンポジウム「やさしさを、未来の髪へ。」》が 開催されました。

去る7月10日(月)、11日(火)の両日、東京は後楽園の文京シビックホール(大ホール)を会場に、2年に1度のビッグイベント、NPO法人日本弱酸性美容協会主催の第16回《加齢美シンポジウム「やさしさを、未来の髪へ。」》が開催されました。全国の会員・スタッフをはじめ、ご招待のお客様(SG会員様限定)など、参加人数は第一日目は1545名、第二日目は1585名。各界一流講師による講演やいよいよ登場する待望の弱酸性ストレートパーマの研究発表など、会場に熱気あふれる充実したシンポジウムとなり、好評のうちに幕を閉じました。

プログラムは以下のとおりです。

1日目	開演 12:00～
------------	-----------

●山崎光信 理事長

基調講演 「やさしさを、未来の髪へ。」

ここ10年間の流れは、弱酸性・ヘッドスパ・リラクゼーション・デトックス、最近ではロハス。これらの流れは、私たちの弱酸性美容の内容そのものです。最先端の美容の自負を持って、これからはベル・ジュバンス弱酸性美容を推進していきたいとの決意が表明されました。

●田上八朗 先生 (東北大学名誉教授)

「皮膚。その働きと美しく健康に保つためのヒント」

皮膚のトラブルや老化は防げるものとして考えるべきでしょう。そのためには正しい知識が必要となります。ご専門である皮膚科学の最前線から、皮膚の美と健康のためにスライドをまじえ、たいへん参考になる皮膚の生理・スキンケアの講義をしていただきました。

●櫻井よしこ 先生 (ジャーナリスト)

「日本よ、のびやかなれ」

混迷を極めている現代日本。日本人が本来の文化を忘れ自信を失い不甲斐ない思いを時代のせいになっているが、ほんとうにそれでいいのか。過去の歴史を振り返り、戦後史観の矛盾がどこから来ているかを、揺るぎない自説と話題の書物・資料に拠りながら展開されました。

●鈴木康友 先生 (株式会社つり人社代表取締役)

「環境報道の表と裏」

月刊「つり人」の編集長として、また国内外でつりを楽しむ愛好家として、アウトドアライフの最前線から、環境問題の現実のレポート、そして危機感を煽りがちな環境報道と現実のずれについて率直な疑問を述べられました。

終了 17:30